NKSJグループ
日本興亜損保
NIPPONKOA INSURANCE

２０１２年１２月３日

弊社の「日本の森林を守る取組み」が
平成 24 年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰を受賞
≪2 年連続で「環境大臣賞」を受賞≫

日本興亜損害保険株式会社（社長：二宮雅也）は、被災地における森林整備などの取組みが評価され、平成24年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰（対策活動実践部門）において、「環境大臣賞」を受賞しましたので、お知らせします。昨年に引き続き2年連続での受賞となります。
なお、表彰式は12月12日（水）にＫＫＲホテル東京にて開催されます。

環境省では、平成10年度から地球温暖化対策を推進するための一環として、毎年、地球温暖化防止月間である12月に地球温暖化防止に顕著な功績のあった個人または団体に対し、地球温暖化防止活動環境大臣表彰を行っています。

日本興亜保険グループは、今後も被災地の早期復興と環境にやさしい地域づくりに貢献することを目的に、被災地の森林整備を支援するとともに、「日本興亜の森林（もり）」などにおける森林整備活動を通じて、自然を大切にする人づくりを進めていきます。

■受賞理由となった弊社の取り組み（環境省発表資料より抜粋）

○東日本大震災などの被災地の早期復興と環境にやさしい地域づくりに貢献することを目的に、被災地の森林整備を支援しており、被災地産のオフセット・クレジット（J-VER）を調達。

○支援対象のプロジェクトの採択に際して、「被災の程度」、「プロジェクトの推進による雇用の創出効果、地域経済の活性化」、「温室効果ガス削減・吸収以外の生物多様性保全・国土保全・水源涵養等の相乗効果」等の視点から評価し、採択された 8 件のプロジェクトのうち、7 件は被災地の森林整備により CO_2 吸収量の拡大を図るもの、残りの 1 件は「がれき」を選別して木質バイオマス燃料として活用する広域プロジェクトとした。

○このプロジェクトで同社が調達する CO_2 吸収量・CO_2 削減予定量は約 5,000t となり、オフセット見込み量は日本最大規模を実現している。

○森林を持続可能な資源として整備し、自然を大切にする人づくりを目的に「日本興亜の森林（もり）」を設置し森林整備活動を行っている。

以　上

ECO FIRST
環境大臣認定
エコ・ファースト企業